

平成26年8月5日

米づくり緊急情報

出穂期には水が必要です！

今年は平年より気温が高く推移し、出穂が大幅に早まっています。
一方、白く乾いている圃場も見られます。
今後一か月間の天候は、平年同様晴れの日が多い予報です。
品質を落とさないよう水管理の徹底を図りましょう。

品質を高めるために！！

【出穂・開花期間】

出穂から穂揃い期頃までは、特に水分を必要とするため、湛水管理(水深2~5cm)とします。

【登熟期の水管理】

出穂後20日間のかん水は、登熟を良くし、品質を向上させるとともに、穂いもちの抵抗性を高めます。

そのため、田面が常に乾かないよう十分に水分の供給を行い、落水は、出穂後30日以降とします。

(平坦部はえぬき：9月5日頃、つや姫：9月10日頃)

またフェーン時は、一時湛水して稲体を保護しましょう！

なお、用水が不足している地域では、お互い協力しながら対応くださるようお願いいたします。

【斑点米カメムシ類注意報第2号発表】

カメムシ多い。適期防除の徹底を！！